

復興支援フォーラムニュース No.15

(URL <http://www5a.biglobe.ne.jp/~tkonno/FK-forum.html>)

<事務連絡先 今野順夫(tkonno67@gmail.com) 中井勝己(024-548-8313)>

復興のため何が課題か？～避難から帰村まで～

福島県川内村長 遠藤雄幸

<川内村の位置>

<村の概要>

<村の土地利用>

<人口の構成比率（避難状況）>

<東日本大震災から避難まで>

*地震後の庁内の様子

*富岡町民避難所の様子

*航空機サーベイによる空間線量率（4・29 現在）

<原子力災害の影響>

◇放射線量に対する不安

- ・低線量被ばくの健康影響
- ・放射線防護基準への不信
- ・子育て世代が帰還を躊躇
- ・避難先で新しい生活や就業へ

◇地域コミュニティが崩壊

- ・避難先が広範囲にわたり交流が断絶
- ・地域活動の停止

◇農地の荒廃

- ・離農者の増加
- ・作付けの制限

◇生活環境の悪化

- ・ストレスによる災害関連死

<川内村の農林畜産業の現状>

◇水稲作付けの制限

◇路地野菜等に対する風評被害

◇葉タバコ栽培作付け断念

◇和牛の殺処分

◇酪農家・養鶏業の廃業

◇未管理による耕地の荒廃

◇労働意欲・就業意欲の低下

- ◇担い手後継者不足
- ◇森林汚染による多面的機能への影響
- *避難所の様子
- *ドイツ政府からの支援

<川内村の復旧と復興>

- *帰村への取組

<帰村宣言記者会見>

<「帰村宣言」>

～戻れる人は戻る

心配な人はもう少し様子を見てから戻る～

- ・ただ単に自分の家、自分の故郷へ戻るだけなのに
なぜこんなに難しいのか？
- ・制約や制限するものではない。
- ・スタートしなければゴールもありません。
- ・震災前に戻ることが復興ではない。

<帰還の意志・地域別>

<戻らない理由（複数回答）>

<帰村に向けた課題①>

◇除染

- ①目標数値の設定
- ②チェルノブイリ原発事故との違い
 - ・農地山林の除染は行わなかった
 - ・肥沃度の低下
 - ・除去した土壌の処分問題
- ③詳細な汚染マップ作成
 - ・汚染度の調査、適地適作
- ④除染方法と費用対効果
- ⑤仮置き場、中間貯蔵施設の設置

*ベラルーシの田園風景

*農地の汚染度マップ

*適地適作

*コパチ村

*川内村の除染（里山）

*川内村の除染（民家）

*仮置き場の様子

<帰村に向けた課題②>

◇雇用の場の確保

- 1 企業誘致
- 2 水耕栽培
- 3 再生エネルギー（太陽光）
- 4 木質バイオマスエネルギー
- 5 役場職員の臨時雇用
- 6 モニタリング作業員

<帰村に向けた課題③>

◇健康管理、医療介護環境の充実

- 1 ホールボディカウンタ、甲状腺検査
 - 2 心療内科、整形外科、眼科の診療科目増設
 - 3 介護施設の建設
 - 4 避難者へのサポート
- ①仮設住宅への職員常駐 ②保健師の派遣
- 5 食品モニタリング

* コマリン学校での食品モニタリング

* 川内村での食品モニタリング

<帰村に向けた課題④>

◇生活再建の補償の継続

- 1 精神的損賠補償の継続
- 2 財物補償の明確化
- 3 原発被災者法の早期成立

<帰村に向けた課題⑤>

◇生活再建のためのインフラ整備

- 1 道路整備・交通手段の整備
- 2 商店・事業所の再開
- 3 防犯・防火の徹底
- 4 住宅整備

<帰村に向けた課題⑥>

◇教育環境の充実

- 1 少人数教育環境
- 2 給食食材安全性の確保
- 3 ICTを活用した共同授業
- 4 長期休暇を利用した保養・体験学習
- 5 興学塾の充実

* 消滅市町村

第12回ふくしま復興支援フォーラム（5月23日）のご意見等

- ★ どのような問題があり、どのように解決していくべきかなど、大変勉強になりました。（K.Y）
- ★ 大変、勉強になりました。先生のお話（消費者意識等）は、私自身、1年間みをもって感じたことでしたので、自分の中の疑問や考えを言葉にさせていただきました。（M.Y）
- ★ 福島大学の多くの方々の発言を、いろいろな機会に聞いてきました。お話されることは、個々の自由だと思いますが、大学として、もう少しまとめることができないでしょうか。話し手（内容）次第で、消費者の誤解を招く危険性を排除願いたいのですが。（H.Y）
- ★ 大変、勉強になりました。ありがとうございます。（T.H）
- ★ 国の放射線汚染対策の無策ぶり（隠ぺい体質）が、よく解りました。福島大学による行政機関等への「対策推進の提言」にご期待申し上げます。（K.F）
- ★ 今回の講演をお聞きし、福島県農業における原子力災害と放射線汚染問題を解決するには、現在行われている対策はまったく逆の、効果のないものであることを知った。早急に軌道に乗せ、放射能の不安を取り除いて欲しい。（取り除いて行きたい）。（R.N）
- ★ <食品検査について>・入口と出口が真逆であることが良く理解出来ました。・課題を以下に解決するか。今後が重要であると思います。（Y.S）
- ★ いつも小山先生にはご協力いただいています。ベラルーシの視察報告は、まだお聞きしていませんでしたので、大変参考になりました。汚染マップを作って→農地ごとの作付分類→安心なものを食べる。この流れを目標に、自分たちの生活を立て直していきたいと思います。力強いお話に勇気が出ました。（M.K）
- ★ いつも小山先生には、ご指導、講習を頂いておりますが、今回は新たなベラルーシウクライナの実状を教えて頂き、大変参考になりました。
- ★ 土壌の放射能度合を考慮せず、反当り150kgのゼオライトと40kgのカリウムを撒くというので驚きました。もっと効果を考えた除染の方法をとれるようにしないと、労力とお金をかけるだけで無駄な税金を使うだけだと感じました。どうしたらいいのか。町内会で除染しましたが、ほとんど効果が出ない（道路を高圧洗浄するだけで、側溝はさらわず放置）方法で、補助金で高圧洗浄機を買ったからやっているとしたか思えません。福島の米を福島で売れないからと、福島の米屋さんが置いていないという話も、米屋さんから直接聞きました。もっと農家の努力と同時に消費者の理解を深めるための努力と広報が必要だと思いました。（K.Y）
- ★ 復興支援フォーラムの参加は初でしたが、非常に貴重な体験ができました。小山先生のお話は、大学でも聴く機会があったのですが、もっと集中して聴くべきだったと惜しまれます。県出身の学生は、今後どんどん参加すべきものだと感じました。（R.M）
- ★ 大変密度の高い報告で、非常に有益であった。報告内容で、公表してもよい部分がか、典拠等を付して貰うとありがたい。もう1回、2回、小山先生の報告を聴いてみたい。（S.I）

~~~~~

### 【第14回 ふくしま復興支援フォーラム】

日時 6月21日（木） 18時30分～20時30分（予定）  
会場 福島市アクティブシニアセンター（AOZ）大活動室1  
報告者 佐藤 健一 氏（一般社団法人福島県中小企業診断協会）  
テーマ 「移転避難商工業復興の課題と方向」